

30 海洋深層水由来高ミネラル飲料の  
効果研究

○野崎豊<sup>1</sup>、野崎恵子<sup>2</sup>、太井秀行<sup>3</sup>、中川光司<sup>3</sup>、  
渡邊康光<sup>3</sup>、菊池佑二<sup>4</sup>

1ノザキクリニック、2兵庫県高砂保健所、  
3赤穂化成株式会社、4農林水産省食品総合研究所

【目的】高ミネラル飲料の臨床効果を明らかにすることを目的とした。

【方法】高知県室戸海洋深層水を原料とした「海の深層水 天海の水」(赤穂化成株式会社製)をインフォームドコンセントの得られた当院患者およびボランティア(従業員)59名へ、1~3ヶ月間投与した。血液流動性測定については、本学会での前々回での報告と同じく、MC-FAN(サンツリー機工社製)を用いた。

【成績】統計学的に有意であった指標のみ、以下に列挙した(p<0.05)。血液流動性：全血100 $\mu$ Lが流路幅7 $\mu$ mの毛細管モデルを通過するのに要した時間で比較した。平均61.8秒が54.0秒(1ヶ月後、n=27)へ改善した。血圧：上記血液流動性と同じ被験者でみると、収縮期圧で前値139.7mmHgが124.7mmHgへと降圧した(3ヶ月後)。代謝系：糖尿病患者において血糖は159.5より109.5mg/dl、Hb<sub>1Ac</sub>は前値6.8から6.2%(1~3ヶ月後、n=9)へと改善を認めた。また、数が少なく統計処理を行っていないが、総コレステロールでは240mg/dl以上と非常に高い被験者において、4名中4名で正常化を認めた。消化器系：LAPが前値53.5より47.8IU/Lと改善した(3ヶ月後、n=31)。免疫関連：癌マーカーの一つであり、肝機能の指標でもあるIAPが高い被験者(400 $\mu$ g/ml以上)において5名中4名に測定値の改善が認められた。

【結論】海洋深層水由来の高ミネラル飲料には血行改善、および肝・脾機能の改善作用があり、糖代謝や脂質代謝にも何らかの改善作用を持つことが示された。さらにIAP等の値の改善については、今後より詳細な検討が必要であるが、何らかの作用を免疫系に対して及ぼしている可能性がある。これら結果から海洋深層水由来の高ミネラル飲料は、代替医療に有用であると考えられた。以上、若干の知見を得たので報告する。